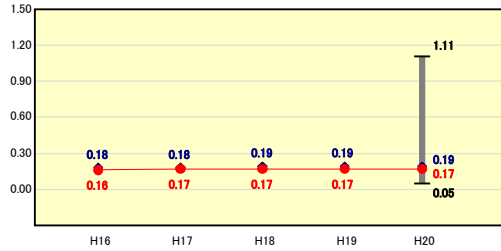


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

財政力

財政力指数 [0.17]

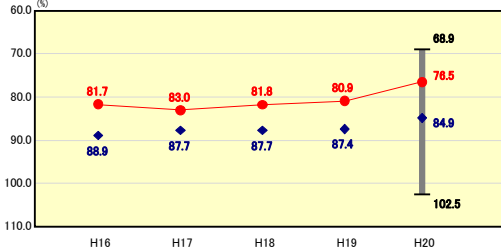


● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 58/129
全国市町村平均 0.56
北海道市町村平均 0.28

財政構造の弾力性

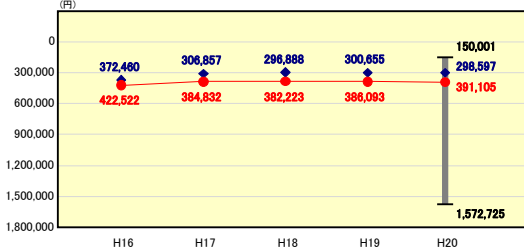
経常収支比率 [76.5%]



類似団体内順位 12/129
全国市町村平均 91.8
北海道市町村平均 92.1

人件費・物件費等の状況

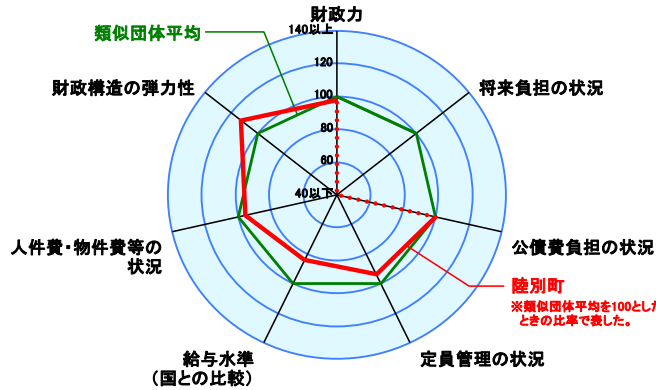
人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [391,105円]



類似団体内順位 94/129
全国市町村平均 114,142
北海道市町村平均 133,025

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

| | |
|--------|------------------------|
| 人口 | 2,790 人(H21.3.31現在) |
| 面積 | 608.81 km ² |
| 標準財政規模 | 2,701,537 千円 |
| 歳入総額 | 4,424,828 千円 |
| 歳出総額 | 4,305,537 千円 |
| 実質収支 | 70,466 千円 |



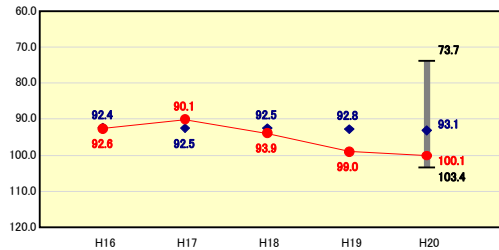
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同グループに属する団体而言う。

※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

給与水準 (国との比較)

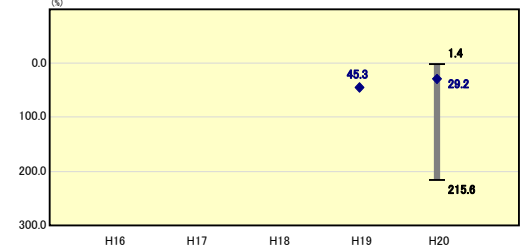
ラスパイレス指数 [100.1]



類似団体内順位 127/129
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6

将来負担の状況

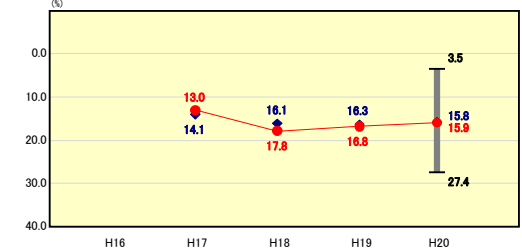
将来負担比率 [-%]



類似団体内順位 ~/
全国市町村平均 100.9
北海道市町村平均 128.3

公債費負担の状況

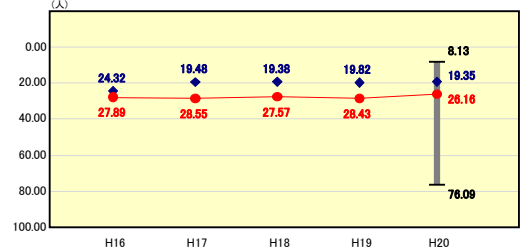
実質公債費比率 [15.9%]



類似団体内順位 69/129
全国市町村平均 11.8
北海道市町村平均 14.1

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [26.16人]



類似団体内順位 100/129
全国市町村平均 7.46
北海道市町村平均 8.34

分析欄

財政力指数:

類似団体平均をわずかに下回っており、これからも人口減少や全国平均を上回る高齢化(20年度末高齢化率35.3%)の進行と基幹産業の衰退により、町税収入の減少が見込まれ、財政力指数のさらなる悪化が懸念されるが、歳出削減と行政の効率化に努めることにより財政の健全化を図る。

経常収支比率:

類似団体の平均を下回っているが、今後においても、新規採用の抑制により人件費を抑えらるとともに、事業優先度の点検等、事務事業の見直しを徹底し、経常経費の縮小を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:

類似団体の平均を上回っている。事務事業の見直しによる歳出削減等で財政の健全化に努めていく。

ラスパイレス指数:

類似団体の平均を上回っている。今後は、適正な給与水準維持となるよう努める。

実質公債費比率:

類似団体の平均をわずかに上回っている。大型事業が見込まれないため、起債残高の大幅な増はないと思われる。今後も高金利の起債の繰上償還や、起債事業の取捨選択を厳しく行い、借入の抑制と残高の減少を目指す。

将来負担比率:

類似団体平均を下回っている。今後も、将来の負担を増やさないよう地方債残高や基金残高等を勘案しながら財政運営を行う。

人口1,000人当たり職員数:

類似団体の平均を上回っている。ごみ収集運搬・し尿運搬・スクールバス運行の民間委託への移行を進めており、今後も適正な定員管理に努めていく。